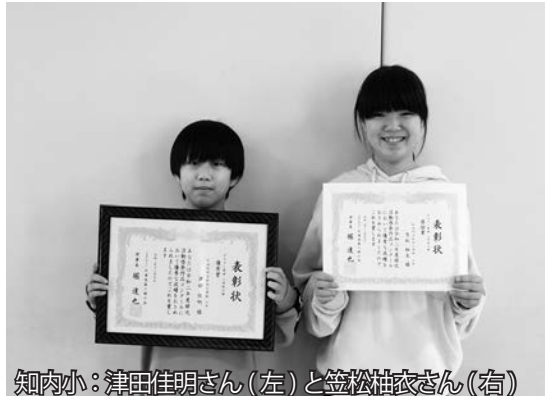


緑化活動啓発作品コンクール 知内小、湯ノ里小から2名受賞



知内小：津田佳明さん(左)と笠松浩衣さん(右)



湯ノ里小：南海輝さん(左)と福井椿さん(右)

森林や緑の大切さ、緑化活動への参加などを啓発することを目的とした「緑化活動啓発作品コンクール」のポスター原画小学生の部で、津田佳明さん(知内小6年)、南海輝さん(湯ノ里小4年)が優秀賞、笠松浩衣さん(知内小6年)、福井椿さん(湯ノ里小4年)が奨励賞を受賞しました。

全道から297作品の応募がある中、優秀賞を受賞した津田さんは「大変だったけど、すごく嬉しかった」と話し、奨励賞を受賞した福井さんに工夫した点を聞いてみると「きれいに塗れるよう塗る順番を考えた」と話していました。

また、知内小学校は同コンクールで13年連続の入賞者を輩出しています。

町民バドミントン大会 コロナに負けず白熱ラリー



1月18日、スポーツセンターにて「町民バドミントン大会」が開催されました。

知内町教育委員会主催のもと、町内在住または町内勤務している一般町民が参加対象で、男子4チーム、女子7チームの計11チームが参加しました。コロナ禍下での大会開催でしたが、例年のリーグ戦をトーナメント方式へ切りかえ、また、コート間の間隔をとり密集しない工夫や手指消毒、プレー以外でのマスク着用など、感染症予防を図りつつ白熱したプレーを展開しました。

町教委は「来年度は勝敗をつけず、遊び感覚のレクリエーションの部を設け、より多くの町民が楽しむことのできるイベントに工夫したい」と話していました。

町内各学校で租税教室を開催 「税」への関心を高める



知内中学校での授業の様子

令和2年12月中旬から約2週間、町内の小中学校で税について学ぶ租税教室が開催されました。

この教室は、児童生徒を対象に知内町役場税務会計課の職員が実施しているもので、「なぜ税金が必要なのか」「税金が社会のためにどのように使われているのか」などについてアニメDVDや資料を用いて講義が行われました。

児童生徒からは「税金の大切さを知った」「税金がないと今の生活ができなくなることを知り、びっくりした」などの感想が寄せられていました。

株式会社アロー建設様より 雪かきスコップの寄贈



竹内学工事部長(右)と寮生

1月8日、函館市所在の株式会社アロー建設様より青少年交流センターへ除雪スコップ20本を寄贈していただきました。

同社は、3月上旬より湯ノ里地区にて道道の工事施工を予定しており、寄贈について、竹内学工事部長は「毎回現場が決まった際は、町に仕事以外で何か貢献できることはないかと思っており、この度知内高校野球部が21世紀枠候補校に選出されたことを知った。その選出理由に感銘を受け、私たちも何か力になれないかと思いきり寄贈させていただいた」と話していました。

～馬鈴しょ生産組合より～

ジャガイモ140キロの寄贈を受けました



宮下進也会長(左)と遠藤施設長(右)

馬鈴しょ生産組合の宮下進也会長より、しおさい園にジャガイモ140キロが贈られました。

これまでに、塩煮やみそ汁、カレーライス等に調理され、入所者の食卓に並びました。

～長寿をお祝いして～

砂子間ヨシエさんが100歳の誕生日



しおさい園に入所中の砂子間ヨシエさんの100歳を記念して、西山町長より花束とお祝い品が贈呈されました。100歳以上の方は、町内に5名いらっしゃいます(令和3年1月18日時点)。いつまでもお元気でいてください。